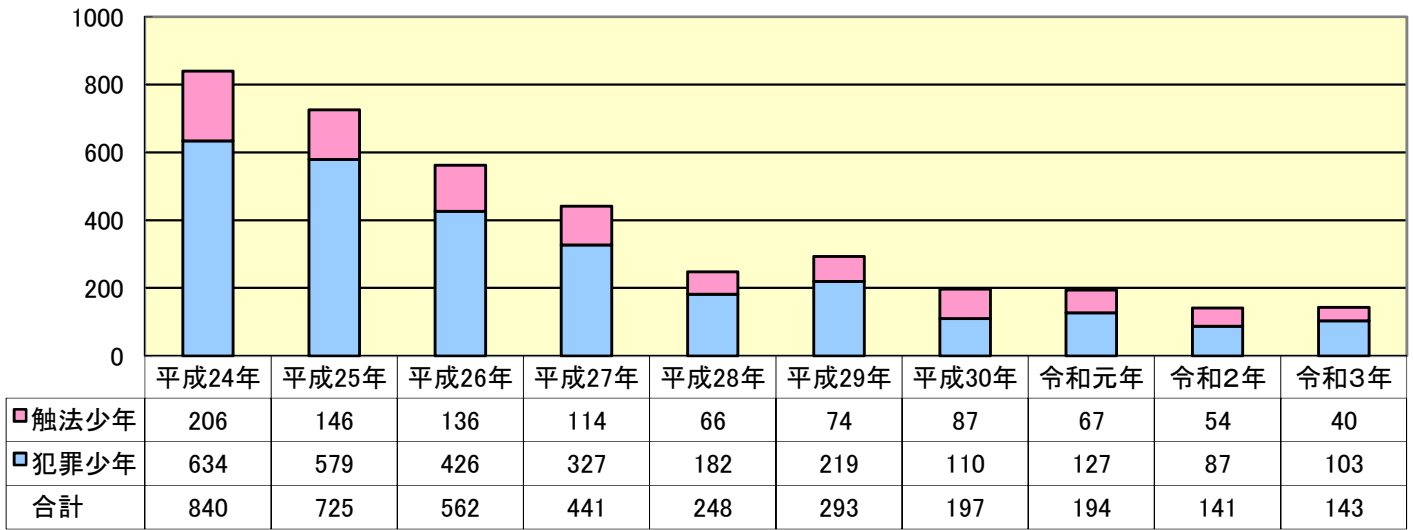


県内における少年非行の概要(令和3年中)

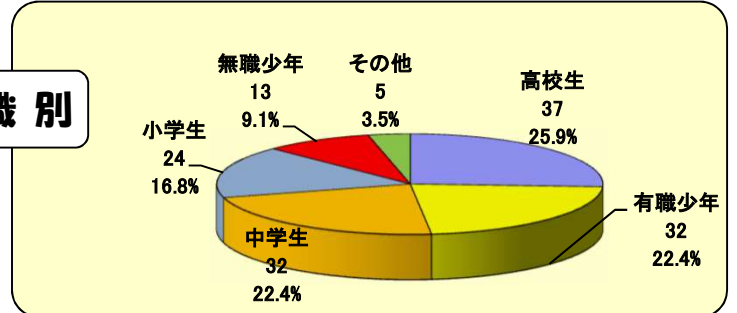
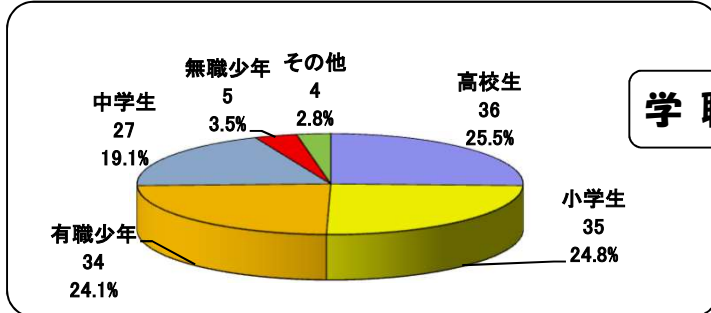
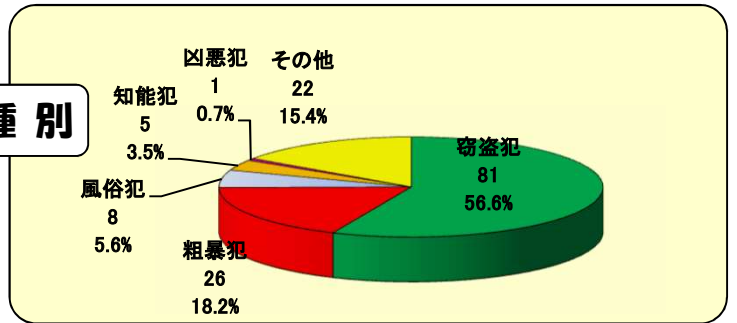
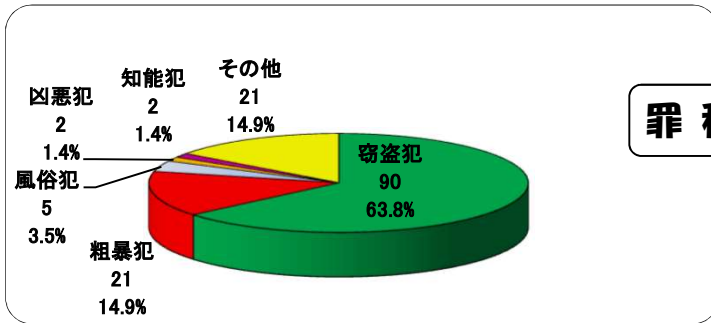
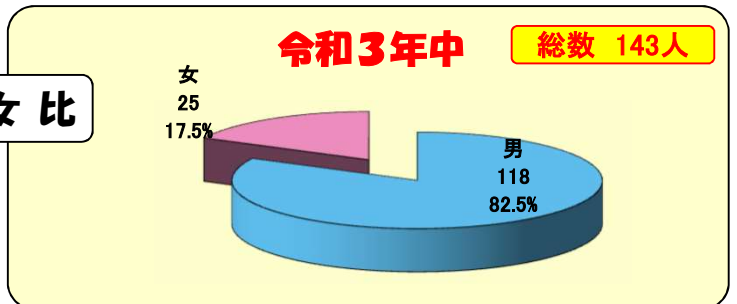
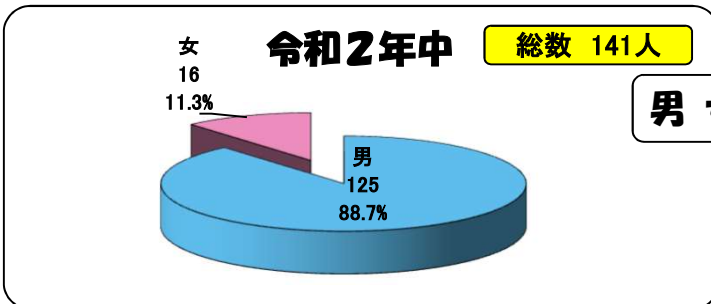
刑法犯少年の検挙・補導人員は、統計が残る昭和26年以降最少となった令和2年から、2人増加。

刑法犯少年検挙・補導人員の年別推移



※ 刑法犯少年検挙・補導数は犯罪少年（14歳以上20歳未満）と触法少年（14歳未満）の合計です

刑法犯少年の推移



特徴

- 男女別の比率については、男性が82.5%を占めている。
- 罪種別については、窃盗犯が最も多く、次いで粗暴犯等の順となっている。
- 学職別については、高校生が最も多く、次いで有職少年と中学生が多い。

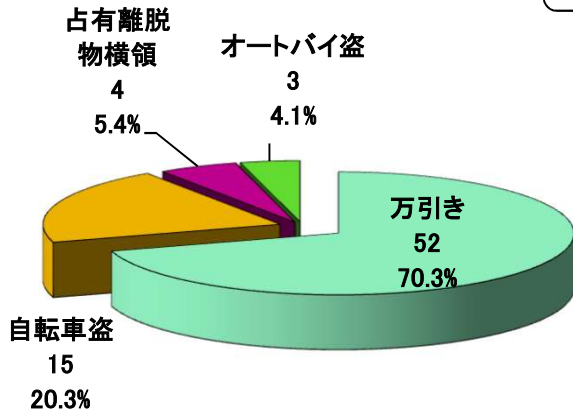
初発型非行(万引き・オートバイ盗・自転車盗・占有離脱物横領)の状況

※ 初発型非行とは、非行の手口や動機が比較的単純で、初期段階の非行といわれる「万引き」「オートバイ盗」「自転車盗」「占有離脱物横領」の4罪種をいいます。

初発型非行：令和2年中

総数 74人

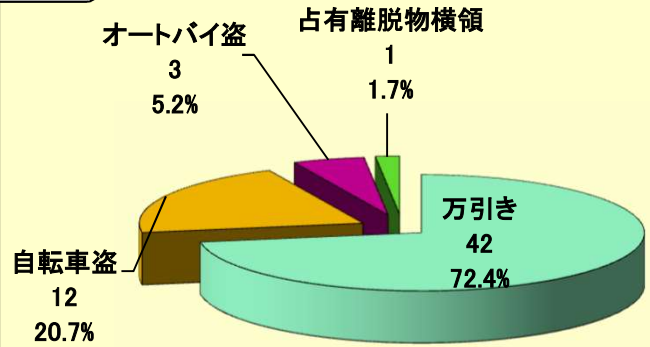
罪種別



※全体の70.3%が万引き

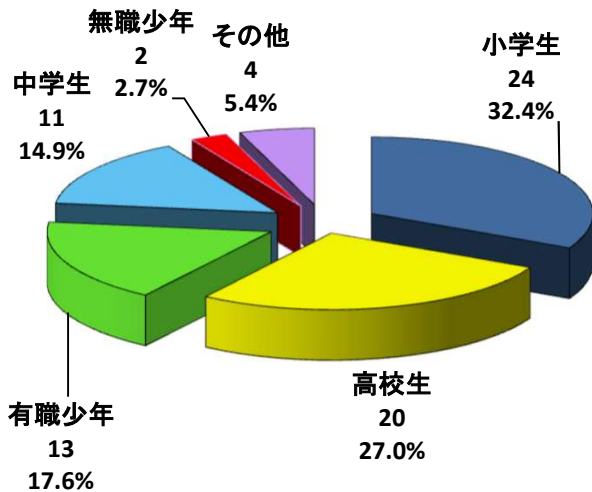
初発型非行：令和3年中

総数 58人

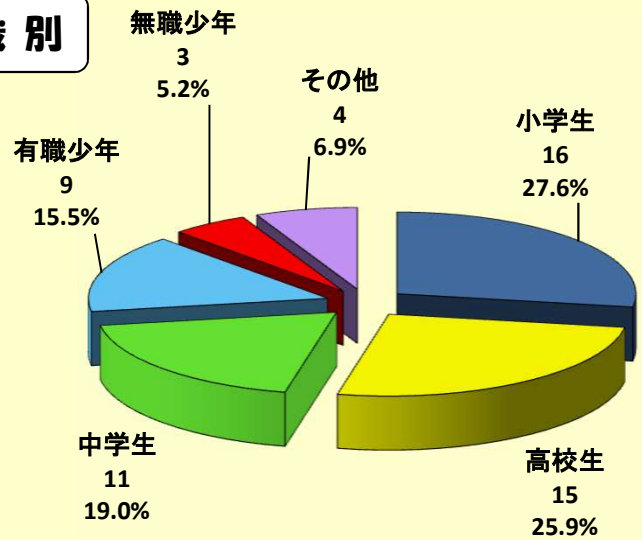


※全体の72.4%が万引き

学職別



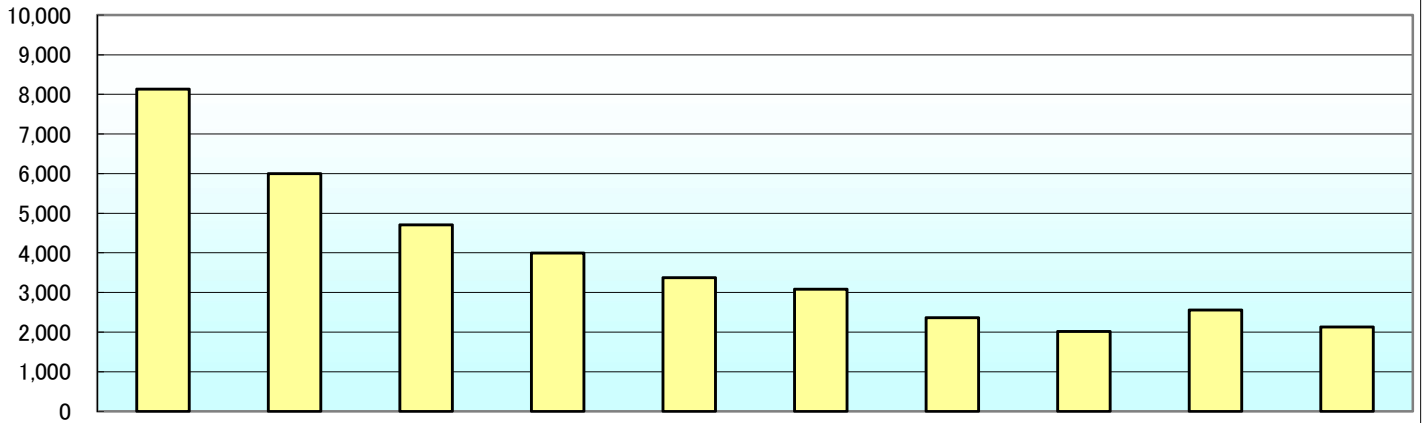
※小学生、高校生の順に多い



※小学生、高校生の順に多い

不良行為少年の補導人員の推移

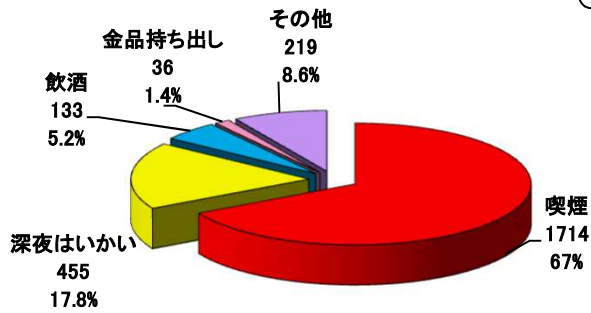
補導人員年別推移



	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
補導人員	8,134	5,999	4,704	3,998	3,376	3,081	2,365	2,018	2,557	2,129

補導人員：令和2年中

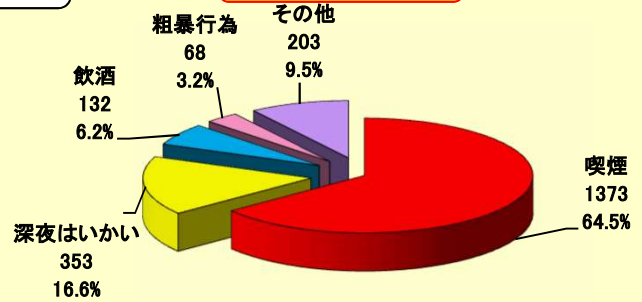
総数 2,557人



※ 喫煙と深夜はいかいで84.8%を占める。

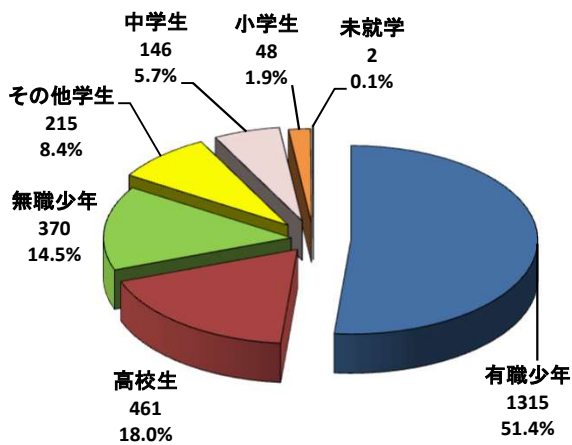
補導人員：令和3年中

総数 2,129人

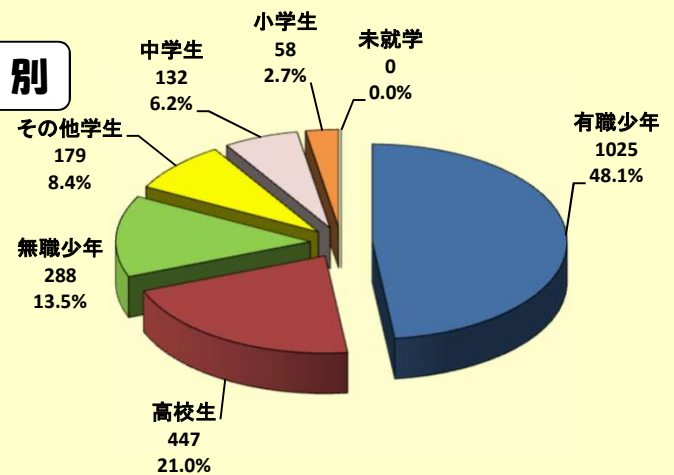


※ 喫煙と深夜はいかいで81.1%を占める。

学職別



※ 有職少年が全体の51.4%を占める。



※ 有職少年が全体の48.1%を占める。